

第8回 高山市平和都市宣言検討会議 会議結果

日 時	平成28年8月17日（水）19：00～20：40
場 所	高山市役所 2階201・202会議室
出席委員 15名 (敬称略)	A班 黒木正之（会長・班長）、小林伸子、谷口律生、池田光彦 B班 元仲しのぶ（副会長・班長）、中澤澄夫（兼 堀委員代理）、高原透 C班 小林 浩（班長）、岡田悦子、生田チサト、住奥久隆 D班 平塚光明（班長）、滝村一彦、伊藤文子、松原 滋
内 容	<p>○市民活動部長（高原透）あいさつ</p> <p>・4月の人事異動により、市民活動部長が、丸山から高原へ交代。所管部長として、検討会議に加わらせていただく。</p> <p>○本日の会議の位置づけの確認</p> <p>第7回で作成した宣言文案に対する市民意見について検討していく。 資料5 「高山市平和都市宣言文作成スケジュール」</p> <p>○市民意見について</p> <p>資料1 平和都市宣言に向けた意見募集 結果概要 資料2 平和都市宣言に向けた意見募集 論点表 資料3 平和都市宣言に向けた意見募集 主な修正意見 資料4 平和都市宣言に向けた意見募集 主な肯定意見等</p> <p>（結果報告）</p> <p>平和都市宣言の文案について、市民意見を募集したところ、市人口のおよそ13%にあたる11,524人の回答を得た。自分の平和への思いは、『文案に表現されている』としたのは11,314人（98.2%）、『表現されていない』としたのは184人（1.6%）であった。</p> <p>修正を求める意見としては、『具体的な内容を記載したい』、『「核兵器」に限定せず、「核（脱原発）」としたい』、『「80周年」は、宣言に関係ないため、削除したい』、『「普段の日常」、「家庭の平和」について記載したい。』との意見が多く寄せられた。小学生からは、『難しい』や『恒久平和という文言が難しい』、保護者からは『子どもには、難しい』との意見が多く寄せられた。一方で、一般（大人）からは、『分かりやすい』や『高山らしい』との肯定的な意見も寄せられた。また、当アンケートの実施については、『アンケートが、子どもと平和について考える良い機会となった』との意見が寄せられた。</p>

(協議)

- ・多くの方（98%）が、自分の平和への思いが文案に表現されているとした結果を大切にする。大幅な文案の変更はしないべき。
- ・市民意見の検討方法については、多岐に渡る多くの市民意見を頂戴しているため、まず、検討する論点を決める。
- ・最初から、出席委員全員で話し合うと、一人ひとりの発言時間が少なくなり、議論が深まらない。このため、事前（第8回開催前）に目を通して全ての市民意見について、班ごとに（少人数で）話し合い、検討する論点を決め、次回、その論点について、全体で検討する。

※各班で、検討する論点としたのは、以下のとおり。

※番号は、資料2、資料3の意見番号。

※〔 〕内は、各班の意見。

■ A班

・1 文言（飛騨山脈）

〔飛騨山脈以外にも、白山、御嶽山などが考えられるが、「飛騨山脈に代表される」としているため、現状で良いのでは。〕

・5 文言（豊かな自然）（「豊かな自然に囲まれ」→「豊かな自然に恵まれ」）

〔恵まれの方が良いのでは。〕

・9 「戦争と核兵器の悲惨さ、愚かさ、恐ろしさ、そして命の大切さを」の
順番

〔命の大切さを強調したいので、現状で良いのでは。〕

・10 文言（国際観光都市）

〔観光資源は、街中だけではない。国際観光都市であることは、高山市の大切な部分で、高山市全体が、国際観光都市として、人との繋がりを大切にしていきたい。現状で良いのでは。〕

・14 接続詞（さらに）

・26 接続詞（しかし）

〔現状で良いのでは。〕

・ 15、79、80、81 具体性

・ 16、30、86、94、95、96 分かりやすさ

〔宣言文について、家族で話し、行動する機会としてほしい。また、より具体的にすることで、市民の行動を限定してしまう。読んだ人の感性に訴えたいため、解説は不要。〕

・ 36 文言（核、核兵器）

〔文案は、核兵器の脅威を強調しているが、検討した方がよい。〕

・ 45 文言（普段の日常）

〔文中「私たちは、世界中の人々が安心して平和に暮らせる日が必ず来ることを願い、行動します」に含まれるため、現状で良いのでは〕

・ 48 文章表現（必ず来ることを願い）→「訪れることを願い」

〔訪れるの方が良いのでは。〕

・ 83 文章表現（市民憲章のように朗唱できるものに）

〔市民憲章とは、性質が異なるため、現状で良いのでは。〕

・ 85 文言（80周年）

〔今後、いつ作成したかが分かるように、現状で良いのでは。〕

■ B班

・ 16、30、86、94、95、96 分かりやすさ

〔子ども向けに、別に解説版を作成してはどうか。〕

・ 36 文言（核、核兵器）

〔議論された結果なので、現状で良いのでは。〕

・ 43 文言（いじめ・暴力）

・ 57 文言（人権）

・ 59 文言（誇れる伝統文化）

・ 60 文言（文化の尊重）

〔誇れる伝統文化と多様な文化の尊重の整合、人権・いじめの事を考慮し、「私たちは大切にします。多様な文化を理解し、尊重することを。対話を通じて、多様な価値観を理解することを」としてはどうか。〕

- ・ 45 文言（普段の日常）
- ・ 49 文章表現（必ずを削除）
[安心して平和幸せに暮らせる日常が必ず来ることを願い……。必ずは、少し強い表現なので削除したい。平和の定義として、「平和」を「安心して幸せに暮らせる日常」としてはどうか。]

- ・ 85 文言（80周年）
[基本的には必要でないと思うが、全体での再検討が必要である。（修正意見が多い）]

- ・ 90 文章表現（永久に平和都市の主語の明示）
[「高山市民は、高山市が永久に平和都市であることを宣言する。」としてはどうか]

■ C班

- ・ 1 文言（飛騨山脈）
- ・ 4、5 文言（豊かな自然）
- ・ 10、11 文言（国際観光都市）
(国際観光都市だから宣言するのではない。)
- ・ 12 文言（周りとのつながりについて詳しく記載）
- ・ 13 文量（周りとのつながりを削除）[12と関連するため]
- ・ 16 分かりやすさ（恒久平和）
- ・ 17、46、47 文言（平和の定義）
- ・ 45 普段の日常
- ・ 82 行動制限の懸念 [17、46、47と関連するため]
- ・ 20、21 文言（世界への発信）
- ・ 24 文量
- ・ 30 分かりやすさ（脅威）
- ・ 31 文章表現（紛争・テロ・飢餓と核兵器の脅威を並列に）
- ・ 32 文言（争い）
- ・ 33 文言（個人主義）
- ・ 34～39 文言（核、核兵器）
- ・ 42 文言（差別）
- ・ 43 文言（いじめ・暴力）
- ・ 54 文言（現在）
- ・ 56 文言（愚かさ）
- ・ 57 文言（人権）
- ・ 58 文言（自然環境保護）
- ・ 59 文言（誇れる伝統文化）
- ・ 60 文言（文化の尊重）

- ・ 79、80 具体性
- ・ 84 体裁
- ・ 85 文言（80周年）
- ・ 86 分かりやすさ（市制施行）

■ D班

- ・ 1 文言（飛騨山脈）

- ・ 10、11 文言（国際観光都市）
- ・ 22 文言（国際文化都市）

〔国際観光都市とすると、観光客に来ていただきたいので宣言すると受け取られる懸念がある。文化があって、その結果、観光がある。〕

- ・ 97 文量

〔「さらに国際平和デー ～ 訴えています。」を削除してはどうか。上の文章とギャップがある。平和の日を制定して、まだ3年であり、日が浅く、世界に訴えているとまでは書けないのでは。〕

- ・ 資料4の宣言に関する提案意見

〔宣言後、どう、宣言を浸透させていくかを考えることは重要。〕

（まとめ）

- ・ 次回の会議で、各論点について検討していく。